



1/24 食を通じて健康づくり 「あいなん食改味まつり」開催

食生活を通じて健康づくりについて考えてもらおうと、「あいなん食改味まつり」（主催：愛南町食生活改善推進協議会）が城辺保健福祉センターで開催されました。

この催しでは、協議会の会員が日頃学んだ食に関する知識や技術を活かし、栄養バランスなどを考慮した料理を作って来場者にふるまい、参加者らは意見交換を行いました。

初めて参加したという木田^{ときこ}時子さんは、「どの料理も美味しい。大根の甘酢包みが口に合ったので、家庭でもぜひ作ってみたい」と話しました。

会場では来場者全員に料理のレシピが配付されました。

1/24 給食にブランド牛登場！

町内の小中学校の給食に「伊予牛絹の味黒ラベル」のすき焼きが登場しました。

これは「愛」あるブランド産品を学校給食で提供することで子どもたちに知ってもらおうと愛媛県と全農えひめが連携して行った事業です。県内では初めて愛南町で実施されました。

一本松小学校では、給食に先立って食育授業が行われ、5年生の児童20人が生産者の思いや牛肉の栄養について学びました。講演を行った池田牧場の池田^{かずなり}一成さん（広見）は「畜産業は命を預かる仕事。大切に育てた牛を味わって笑顔で食べてもらえたらうれしい」と話しました。

「伊予牛絹の味黒ラベル」は、町内19の小中学校で1,640食分、およそ72kgが提供されました。



あんなことや、
こんなこと—TOWNコミュ

本日!海日和!! vol.88

「サンゴの住人 その2」



ミドリイシに住むセダカギンポ

ミドリイシは愛南町にも多く生息しているサンゴの仲間である。多くの人がサンゴと聞いてイメージするのが、このミドリイシの仲間である。緑色をしていて、石のように固いから、この名前がついている。木のようにも見えるので、枝サンゴと呼ばれることもある。

この固い枝の隙間は、小さな生き物たちにとって絶好の隠れ場所になっている。セダカギンポもこの枝の中を安心して泳ぎ回り、櫛のようになった歯で、サンゴの表面をこしとって食べている。

模様が美しく、パッチリとした目をしているので、ダイバーにも大人気の魚である。しかし、いつも枝の間をチョロチョロと泳ぎ回っているため、なかなか写真に撮ることができない。について熱中してしまい、タンクの空気を全部使ってしまうこともある。

小さなサンゴの中で不思議な生き物たちの世界が繰り広げられている。その世界に魅せられると陸上へ帰るのを忘れそうになってしまう。

（撮影地：鹿島）

愛南サンゴを守る会 ^{ともてる}西尾知照

1/30 南予地域で初の「道路協力団体」

内海名勝会（会長：小島正俊^{まさとし}会長）が愛媛県南予地域で初の「道路協力団体」に指定され、DE・あ・い・21で指定証の交付式が行われました。

道路協力団体制度は、官民連携で道路管理の充実を図ろうと平成28年4月に創設された制度です。

内海名勝会では、平成24年6月から柏地区の国道56号の道路清掃活動を行っており、道路管理者と連携して道路の清掃や花壇の整備などの業務を行うにふさわしい団体として指定されました。

交付式では、国土交通省四国地方整備局大洲河川国道事務所の兵頭^{ひでと}英人所長から小島正俊会長に指定証が手渡されました。

小島会長は「今後は広告看板により、道路の清掃活動をPRし、活動に対する協賛団体からの寄付で、さらなる美化活動の充実を図りたい」と話しました。



2/4 「愛南に心ある医療を」 愛媛マラソンでPR

第56回愛媛マラソンに、今年も南宇和病院職員有志が出場しました。

当日は晴れたものの、冷たい風が吹き、日中の気温も1～2℃台という厳しい寒さの中、出場した職員は、背中に「愛南に心ある医療を」と書かれたおそろいの水色のTシャツを着て、愛南町の地域医療の窮状を県民の皆さんに少しでも知ってもらいたいという熱い思いを背負って、42.195kmを走りました。



南宇和病院職員一同は、いつの日か、地域医療に対する熱い思いが報われることを信じて、日々頑張っています

2/7 柏地区で合同避難訓練

柏地区で、柏小学校、柏保育所、柏地区自主防災会が参加して合同避難訓練が行われました。これは、愛媛県南予地方局が南予津波避難行動促進事業の一環として地域の防災力強化を図ることを目的に実施したものです。

参加した児童らは11時10分に地震発生の放送がかかると机の下に身を隠し、揺れが収まるのを待って、一斉に避難行動を開始しました。

5年生の好岡美優^{みひろ}さんは「走って逃げるのに疲れて『津波だ。逃げろ!』と周りの人に伝えることができなかつた。本当に避難するときには気をつけたい」と話しました。



学校から約700m離れた特別養護老人ホームに避難する柏小学校の児童ら